7インチ ドライブレコーダー付
ポータブルワンセグナビゲーション
TNK-744DRT 用

本体操作説明書

Ver 1.0.1

※ナビゲーション操作については、
別冊「ナビゲーション操作説明書」をご覧ください。

- この度は、7インチポータブルナビゲーションをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく理解されてからお使いください。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に保管してください。
- 最終ページに保証書が付いています。お買い上げ日、販売店名の記載もしくは同内容の記載された書類とともに大切に保管してください。

ご使用上の注意

ご使用前に、必ず本書および付属の説明書をお読みいただき正しくおつかいください。

ご注意！

《内蔵リチウムイオン充電式バッテリーについて》

- **炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では使用したり放置したりしないでください。**

  リチウムイオンバッテリー内部で異常な化学反応が起こり液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

- **強い衝撃を与えたり、鋭利なもので刺したり叩いたりしないでください。**

  リチウムイオンバッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

- **充電温度範囲は0～４５℃で行ってください。**

  リチウムイオンバッテリーが急激に加熱されたり密閉状態が保てなくなり、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。また、バッテリー性能の低下や寿命が短くなることがあります。

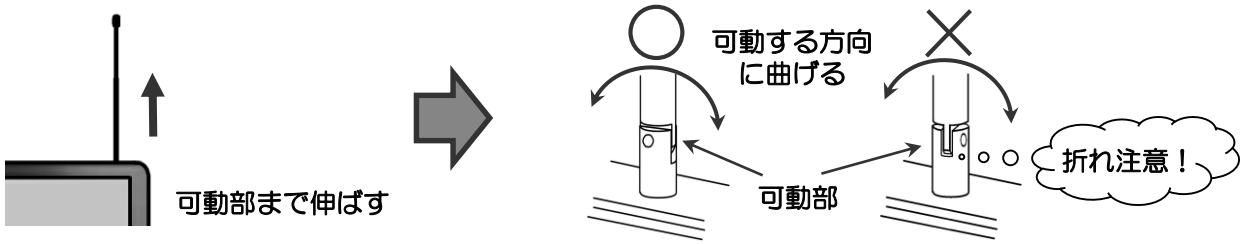
炎天下の車内や直射日光の強いところ
など高温になるところで使用したり
放置したりしないでください。

ご使用後は、取り外して日陰など６０℃以下のところで保管してください。

ご使用になる前に

＜アンテナ折れに注意！＞

アンテナは無理に動かさないでください。
可動可能な方向以外に曲げた場合、折れる恐れがあります。



＜＜タッチパネルについて＞＞

本製品のタッチパネルは静電容量式を使用しています。
指を触れるとパネル表面の微弱電流の変化を感知して位置を検出します。
指で画面を軽くタッチしてください。
感圧式タッチパネルとは違い、圧力で検知するものではありません。
強く押したり市販の静電容量対応以外のペン等で押したりしないでください。

※指でタッチするときは、以下の点にご注意ください。

- 濡れた指でタッチしないでください。
- 指の腹でタッチしてください。（ツメでは反応しません。）
- 素手でタッチしてください。
- 手袋をしていると反応しません。

＜＜液晶画面の残像について＞＞

液晶画面の特性上長時間静止画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。
液晶画面の残像を防ぐには

- メニュー画面のような静止画像を長時間つけたままにしないでください。
- すぐに使用しない場合は、画面を消すか明るさを控えめにしてください。

液晶画面に残像が残ってしまった場合、しばらく動きのある動画を再生すると徐々に消えてなくなります。

＜＜microＳＤカード、電源アダプターについて＞＞

●microＳＤカードの必要以上の抜き差しはお控えください。抜き差しする場合はmicroSDカードの端子部（金属部）には触れないでください。（故障の原因となります）
●車載用DCアダプターの必要以上の抜き差しはおひかえください。（故障の原因となります）
抜き差しを行う際は、まっすぐに抜いてください。ねじったりすると故障の原因になります。
●車載用DCアダプターやコードを必要以上に動かしたりさわったりしないでください。
（接触不良の原因となります）
●付属の車載用DCアダプターはＤＣ１２ＶからＤＣ２４Ｖまで使用可能です。
ＤＣ１２Ｖ車、ＤＣ２４Ｖ車のシガープラグへ直接接続してください。
●電圧変換器（DC-DCコンバーター等）を使用すると故障の原因になることがあります。
社外の変換器などのご使用によって発生した不具合については当社はその責任を負いかねます。

＜＜登録情報について＞＞

大切な情報（地点登録など）は、万が一に備えてメモなどバックアップをおとりください。
修理の際は、初期状態に戻すことがありますのでその際は必ずバックアップをおとりください。

＜＜車両等でのご使用の注意＞＞

●安全のため運転中の操作および画面の注視はしないでください。
●車載スタンド設置する場合、運転の視界の妨げにならない位置に設置してください。
また、必ず運転する前にしっかり固定されていることを確認してください。

＜＜ドライブレコーダーについて＞＞

●記録された映像は事故検証としては補佐的なものです。証拠として効力があるとは限りません。
●衝撃などで映像が記録されない場合があります。
●本製品は、記録データをmicroSDカードに記録しています。
microＳＤカードの状況により動画の画像欠落等の不具合が起こる場合があります。
●お車により、画像の揺らぎ、ゆがみ等が発生する場合があります。

＜＜ドライブレコーダー用microSDカードについて＞＞

●本機種はmicroSDカードがドライブレコーダー用に1枚挿入されています。
抜き差しする際は入れ間違いの無い様注意願います。

＜注意＞

音楽、動画、写真等の入ったカードをドライブレコーダー側に入れると消去されます。

＜＜ドライブレコーダーのフォーマットについて＞＞

●ドライブレコーダー機能をご使用の前に付属のmicroSDカードを本機種でフォーマットしてください。
（本体操作説明書の27ページの「microSDカードの設定（フォーマット）」参照 ）

＜フォーマット時の注意＞

・フォーマットの際は、必ず付属のDCアダプターで電源通電して行ってください。
・フォーマット中は途中で電源を切ったり他の操作を行なったりしないでください。
※途中で電源が切れたり強制的に終了した場合microSDカードが壊れることがあります。

初めてお使いになるときに
～初期設定について～

≪パネルの保護フィルムについて≫

●液晶パネル面に、製造および輸送時のキズ保護用のフィルムを貼付けてあります。

ご使用になる時は保護フィルムは剥がしてください。

貼ったままでは画面上に縞模様がでたりタッチスイッチの動作不良になることがあります。

≪ナビゲーションのご使用の前に≫

ご使用前に、GPS衛星からの情報を受信できることをご確認ください。

屋外の上空の開けた場所で、
現在地を表示するまでお待ちください。

初めて使用する時や前回使用した場所から離れている場合、
数十分かかる場合があります。動かさずにお待ちください。

～受信状況確認する場合～

一度ナビを終了して「設定」→「GPS情報」を
タッチすると受信状況表示

設定のページ

衛星の受信状況

≪テレビの設定≫

テレビをはじめてご覧になる前に、
チャンネル設定（スキャン操作）を必ず行ってください。

●スキャンは受信環境の良いところでしばらく静止して安全を確認の上、スキャンしてください。
※詳しくは18～19ページをご覧ください。

≪お車への取付≫（運転の前に必ず確認してください。）

・お車への取付の際は、視界を確保した上しっかりとゆるみのないことを確認してください。※詳しくは12～15ページをご覧ください。

・直射日光の当たる場所などに長時間放置しないでください。

夏場など高温時に長時間放置していると、スタンドの吸着力が弱くなったり、本体製品やスタンドなどの変形により落下してけがをしたり、故障の原因となることがあります。
しばらくお使いにならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。

～～こんなとき～～

◆電源がはいらない。

充電が0になると電源コードをつないでも電源がはいりません。
その際は、電源コードをつないで30分以上充電後、電源をいれてください。

目　次

1. はじめに ----------1
2. 安全上のご注意 ----------2
3. 使用上のお願い ----------6
4. 商品構成 ----------9
5. 各部の名称 ----------10
6. リセット機能 ----------11
7. 車への取付け ----------12
8. 本体電源の取扱方法 ----------17
9. ワンセグＴＶ ----------18
　9-1. チャンネル設定（スキャン操作） ----------18
　9-2. ワンセグTVをみる ----------20
　9-3. ワンセグTVの各種設定 ----------20
　9-3-1. 設定「チャンネル」 ----------21
　9-3-2. 設定「基本設定」 ----------21
　9-3-3. 設定「ビデオ」 ----------22
　9-3-4. 設定「情報」 ----------22
　9-4. ワンセグTV（EPG番組表） ----------23
　9-5. ワンセグTV 録画／再生 ----------24
10.ドライブレコーダー（Dレコーダー） ----------25
　10-1.ドライブレコーダー設定 ----------26
　10-2.録画の準備 ----------27
　10-3.録画をする ----------28
　10-4.再生する ----------29
11. メディア ----------32
　11-1.動画 ----------33
　11-2.音楽 ----------34
　11-3.写真 ----------35
12.設定 ----------36
　12-1. ボリューム設定 ----------36
　12-2. 言語設定 ----------37
　12-3. GPS設定 ----------37
　12-4. ファクトリーリセット設定 ----------38
　12-5. バックライト設定 ----------38
　12-6. 日付･時間設定 ----------39
　12-7. ナビ設定 ----------39
　12-8. システム情報 ----------40
13. ソフトウェア仕様 ----------41
14. ハードウェア仕様 ----------42
15. 困ったときには ----------43
16. お問い合わせ先 ----------44
　保証書 ----------巻末

1　はじめに

この度は当社ナビゲーションをお買い求めいただき誠にありがとうございます。
快適にご使用していただくために下記説明を補足いたします。ご一読いただき
正しくお使いください。
本書の画像写真やイラストは説明のため、実物と異なる場合がありますが、
ご了承願います。

GPSナビゲーションとは

本機に搭載されておりますＧＰＳによるナビゲーションシステムは、衛星
よりの位置情報を補足することで目的地までのナビゲーションを行う
システムです。従いまして、GPSナビゲーションは車速やジャイロを使用
して自車位置と目的地までの到着ルートを算出するナビゲーションとは仕様
が異なりますのでその特性をご理解の上、ご使用下さいますようお願い
致します。

＜＜GPSナビゲーションの特性＞＞

①天候・道路環境・建物環境などによっては、正確なルート表示・案内が
行われない場合があります。
②設定されたルート通りの走行を行わなかった場合などリルート機能により
頻繁に目的地までの再計算を行います。場合によっては搭載されているCPU
に負荷が掛かりフリーズする場合もあります。この場合は本機のリセット
ボタンを使用することで復元されます。トンネル内や道路事情・建物環境に
よってGPSが衛星を補足する条件が悪化した場合にはこれらの環境が改善
された場合でも正しい動作をしない場合がありますのでご了承願います。
③電源をOFFする際、スリープモードと電源ＯＦＦ（完全に電源を切る）
モードがあります。スリープモードの場合、ナビのデータを記憶している
ため時々CPUに負荷がかかる場合があります。この場合は本機のリセット
ボタンを押してください。
④電源投入後しばらくの間は現在地の測位を行いますのでルート設定出来
ない場合があります。目安は本機の画面上に現在時間が表示されますと
測位完了しております。ルート設定や各種機能を操作される場合は建物障害
の無い安全な場所に停車して行ってください。運転中の操作は絶対におやめ
ください。
⑤はじめてお使いのときや前回使用したときから遠く離れたのち電源を入れ
たとき、GPS衛星からの位置情報が大きく変わりデータ量が多くなるため、
数十分時間がかかる場合があります。（コールドスタートと呼びます。）
いったん受信完了し測位出来ましたらその後は、GPSからの受信は速く
なります。

本機はGPS専用ナビゲーションです。みちびき等他の衛星を利用した
システムではございません。

2.　安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の意味

表示	表示の意味
⚠危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
⚠警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
⚠注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

■図記号の意味

図記号	図記号の意味
禁止	“ ⃠ ”は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	“ ● ”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	“△”は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1 :重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2 :傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3 :物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

異常を感じたとき

⚠警告

●煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店又はサポートセンターにご連絡ください。

●内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店又はサポートセンターに点検をご依頼ください。

●落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店又はサポートセンターに点検をご依頼ください。

●電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店にまたはサポートセンターに交換をご依頼ください。

使用するとき

●修理・分解・改造しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサポートセンターにご依頼ください。

●内部に異物を入れないこと

異物挿入禁止

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●雷が鳴り出したら本機や電源プラグに触れないこと

接触禁止

火災・感電の原因となります。

●水に濡らしたりしないこと

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしない。また雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。

●歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は周囲の安全を十分注意し直視しないこと

禁止

交通事故の原因となります。

●ルート案内中でも、常に実際の交通規則に従うこと

禁止

交通事故の原因となります。

⚠注意

●ヘッドホン、イヤホン等をご使用になるときは音量をあげすぎないこと

禁止

大きな音量で聞くと聴覚機能に悪影響をあたえることがあります。

●電源を入れる前には音量を最小にすること、外部接続時はその音量を最小にすること

指示

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

●液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと

禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。

設置するとき

⚠警告

●屋外や風呂、シャワー室など水のかかる恐れのある場所には置かないこと

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

●ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所には設置しないこと

禁止

本機が落下して、けがをしたり、故障の原因となります。

●ひざの上などで使用するなど上に肌にふれないないこと

禁止

低温やけどの原因となります。
（低温やけどは体温より高い温度のものを長時間あてていると発生するやけどです。）

⚠注意

●温度の高い場所に置かないこと

禁止

直射日光の当たる場所・締め切った車内、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります。

●湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。

●風通しの悪い場所で使用しない

禁止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により、動作不安定になることがあります。

●本機の移動させる場合は、電源アダプターやその他外部接続線をはずすこと

指示

配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり、落下によるけがの原因となることがあります。

車載用ＤＣ電源接続アダプターについて

⚠警告

●DCアダプターを分解、改造、修理しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。

● DCアダプターは付属のものを使用すること

禁止

指定以外の電源接続コードを使用すると、火災・故障の原因となることがあります。

●DCアダプターのコードは下記注意してください。
・傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと
・引張ったり、重いものをのせたりはさんだりしないこと
・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと

指示

火災・感電の原因となります。

●DCアダプターはDC12V～24V対応です。電源変換器は使用しないこと

禁止

電圧変換器（DC-DCコンバータ）を使用すると故障の原因になることがあります。

●時々電源プラグを抜いて接点をきれいに掃除すること

指示

電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。

⚠注意

●ぬれた手でアダプターを抜き差ししないこと

指示

感電の原因になります。

●電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

指示

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

●旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

●付属の電源アダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと

禁止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

●電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

指示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

●注意事項
- ＧＰＳ電波が受信できない場所（建物の中、地下、見晴らしの悪い場所等）でナビゲーション機能は利用できません。また、悪天候、車内 の無線機器、フロントガラス反射材などによる障害により利用できない場合もあります。
- ＧＰＳ衛星は、米国国防総省により運用されていますが、ＧＰＳ衛星の精度低下や故障によって不都合が生じる場合があります。
- サージ電流からの保護のためにエンジン始動後にシガー電源を接続することをお薦めします。
- 液晶画面は、傷つきやすい硬いものでタッチしないでください。
- 初回の充電は電源ＯＦＦにして充電し、高温、高湿度の場所で充電は行なわないでください。また、電池保護のため長時間使用しない場合でも ２週間に１度など定期的な充電をお薦めします。
- 地図や検索で使われる情報は、その正確性、最新性について現状と異なる場合がありますのでご注意ください。
- 本機を廃棄される際は、お客様が登録したデータが流出する可能性がありますので、登録内容を完全に消去してから廃棄されることをお薦めします。

●免責事項
- 本製品の提供するすべての情報について、その正確性、有用性、最新性、適切性など何ら法的保障をするものではありません。
- お客様または第三者が本製品を利用、また使用不能によって生じた損失、損害には一切責任を負いかねます。
- お客様または第三者による本製品を利用しての事故や業務上の損害、お客様が入力したデータの消失による損害も保障いたしません。

3.　使用上のお願い

取扱いについて

●液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。カバンに入れたり、体に身につけたりした場合にも十分ご注意ください。
●引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルが傷がつかないようにしてください。
●殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり塗装がはげるなどの原因となります。
●長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
●長期間使用しないとき機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。
※液晶、タッチパネルの破損は補償対象外となりますのであらかじめご了承願ください。

置き場所ついて

●**直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など温度が高くなる場所に置かないでください。**変形、変色、故障や発火の原因となります。
しばらくお使いにならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。
●本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れついて

●本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。
割れたり変色したり塗装はがれの原因となります。
●液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

メモリーカード（microSDカード）について

●メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
●大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、**万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**
●抜差しする場合には、メモリーカードの端子（金属部）には触れないでください。
●メモリーカードの取扱いかたについては、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
●通常のご使用でデータが破損(消滅)することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損(消滅)することがあります。記録されたデータの破損(消滅)については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますのであらかじめご了承ください。
●メモリーカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。

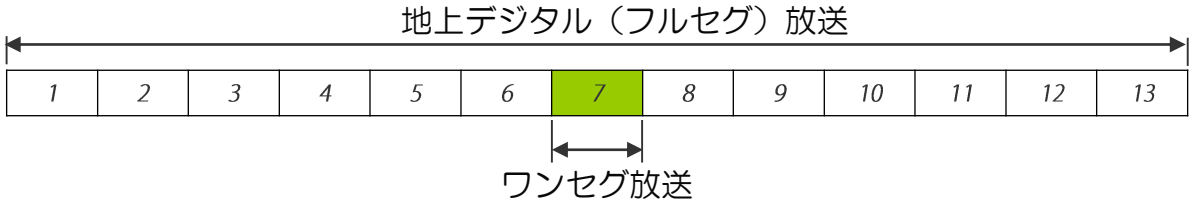
●メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
●強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
●高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
●メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。
●メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには静電気防止ケースに入れてください。
●直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると破損、故障の原因になることがあります。
●ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
●本機から取り出したメモリーカードが熱くなることがありますが、故障ではありません。
●**メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。**

テレビ受信について

●ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合**必ずスキャン操作をしてください。**
スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず行なう設定です。
●スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越し等で受信可能な放送局がかわる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。
●本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。
海外ではご使用になれません。
●建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、**屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。**

<<ワンセグとは>>

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。
地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。
そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。
詳しくは社団法人デジタル放送推進協会（Dpa)のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）をご覧ください。
放送エリアのめやすは（ http://dpa-tv-area.jp// ）にてご確認いただけます。



フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも受信が可能で
高速移動中でも広範囲で受信が可能です。

ワンセグについての注意

放送エリア以外の地域では視聴できません。必ずご使用する地域で放送局のスキャンをして受信できる放送局を設定してください。
放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがありますのであらかじめご了承願います。
受信状況が最も良くなるようにアンテナの設定を調整してください。

＜＜ＴＶの設定＞＞

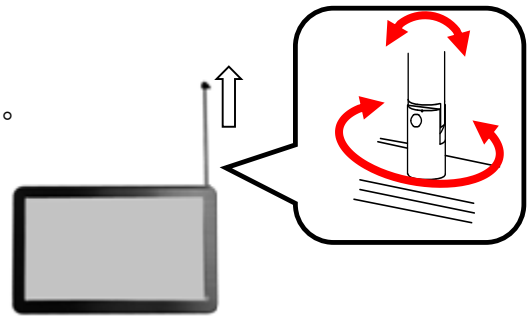
本製品をはじめてご使用になる前に、下記の方法で地上波デジタルワンセグ放送を受信するためのチャンネル設定を行って下さい。使用する地域で受信可能な放送局を自動的に選局して記憶いたします。（スキャン操作）移動したときや引っ越しなどで受信地域が変わった際にも再度設定してください。スキャンを行う時は受信状況の良いアンテナ設定後行ってください。

チャンネル設定（スキャン操作）

※アンテナの向きは受信の良い位置に調整してください。

①アンテナの準備
本体の右上についているアンテナを引き延ばしてください。
※アンテナの向きは受信良い位置に調整してください。

＜注意＞
※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。



①アンテナを引き延ばす

②チャンネル設定（スキャン操作）
(1) 「**メインメニュー**」の「**テレビ**」アイコンをタッチします。
(2) 安全のための警告の内容を確認しましたら「**確認**」をタッチし、ワンセグTVの操作画面を表示させます。
(3) ワンセグＴＶの操作画面の「**設定** 🔧 」ボタンをタッチします。
(4)地域ボタンを「Ａ１１」または**現在の地域～都道府県**の順にタッチします。
(5)「**スキャン**」**ボタン**を押し、お近くの受信可能な放送局を選局します。スキャン後、探し出した受信可能な放送局を抽出します。
(6)「**適用**」を押し受信可能な放送局を記憶させます。
(7)チャンネルリストからお好みのチャンネルを選び視聴してください。
また、チャンネル「＋、－」ボタンで選局もできます。

②-(1)「**テレビ**」をタッチ　②-(2)「**確認**」をタッチ　②-(3)「**設定** 🔧 」をタッチ

②-(5)「**スキャン**」をタッチ　②-(6)「**適用**」をタッチ

「ALL」又はお住まいの「地域」をお選んで「スキャン」をタッチする。
※放送局がうまく取れない場合は、ALLを選んでスキャンしてください。

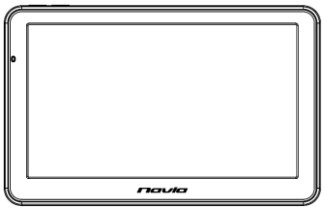
チャンネル設定完了

スキャンが終わると**「スキャン完了」**が表示

4.　商品構成

本機を使用する前に、本体および付属品の確認を行ってください。

①本体



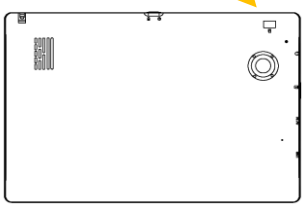
② 車載用ＤＣアダプター

③ 車載用吸盤スタンド

④ 吸盤ベース板

⑤ microSDカード（８GB）
（ドライブレコーダー用）

※製品に装着済み



⑥ 取扱い説明書 ２冊
（本体操作説明書／ナビゲーション操作説明書）

---

⑦ 滑り止めシート

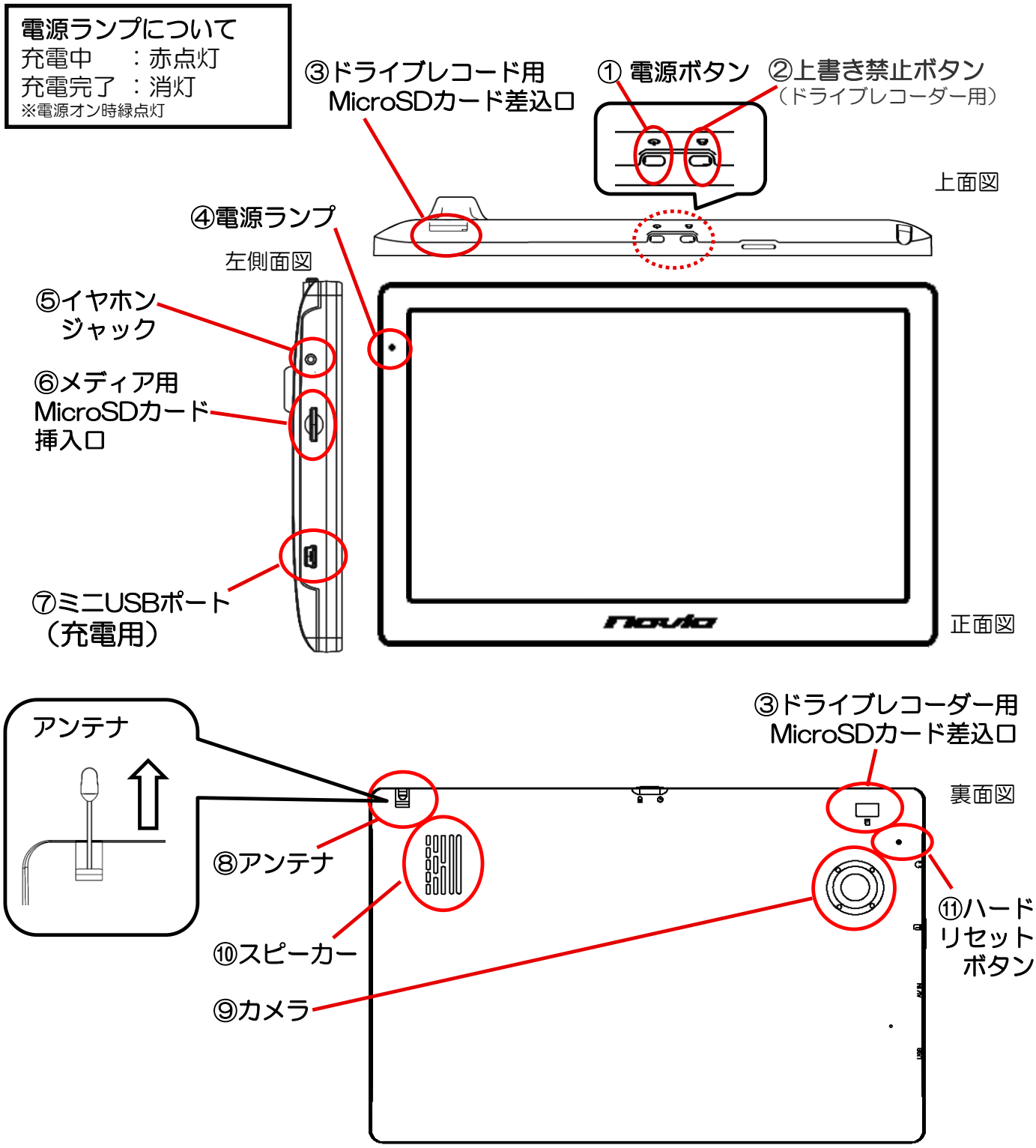
本製品の緩衝用包装材としてクッションシートを
付属しています。
このシートは、滑り止めシートとしてお使いいただけます。

滑り止めシート

＜ご注意＞
炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では
長時間放置したりしないでください。
はり付きや色移りになることがあります。
ご使用後は、取り外して日陰など６０℃以下のところで
保管してください。

※イラスト、画像が実物と
異なる場合があります。

5. 各部の名称

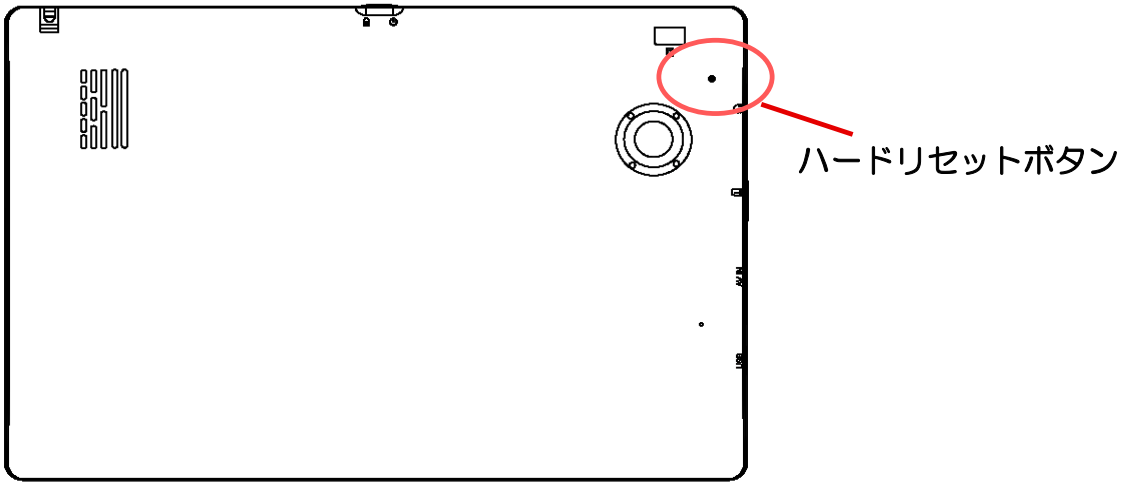


＜注意＞

MicroSDカード挿入口が２ヶ所あります。入れ間違いの無い様、十分に注意願います。
メディア用MicroSDカードをドライブレコーダー用挿入口に挿入するとメディアデータが消去されることがあります。

6. リセット機能

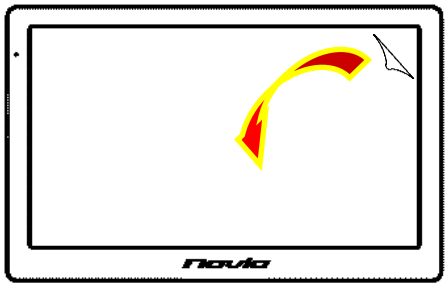
【ハードリセット】
本機になんらかの障害が発生しハードリセットを行う場合は、細いペンや
クリップ等でハードリセットボタンを軽く押し、リセットを行ってください。



※メニュー操作中や地図表示中になんらかの原因で画面がフリーズして
しまった場合は、かならず上記のハードウェアリセットを行ってください。

パネルの保護シート（フィルム）について

本機種は出荷時に液晶パネル面に製造時
および輸送時のキズ防止のために、
保護シートが貼られています。
ご使用になる際は、
剥がしてお使いください。
貼ったままにしていますと、画面上に
縞模様がでたり、タッチパネルのタッチ
スイッチの動作不良になることがあります。



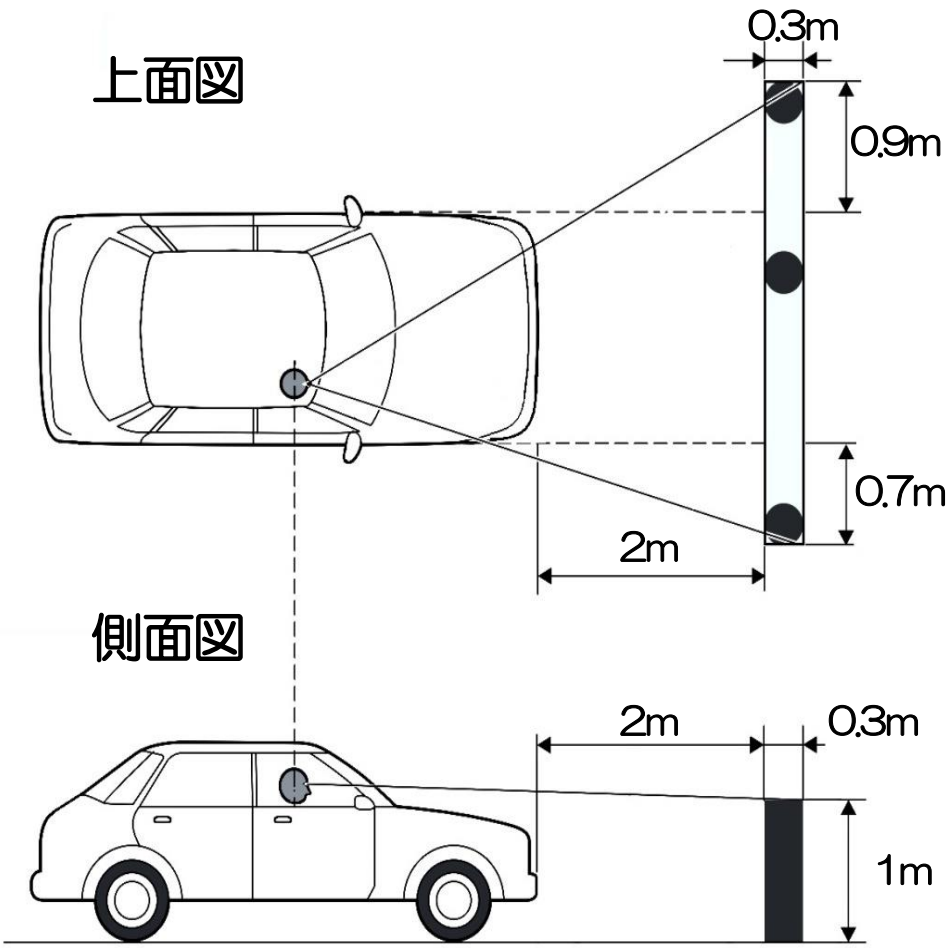
保護シートをはがす。

7. 車への取付け

前方視界基準について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に従って、運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付けてください。

前方視界基準
●対象車両
専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）
車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車
●基準概要
自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したもの）を鏡等を用いず直接視認できること。

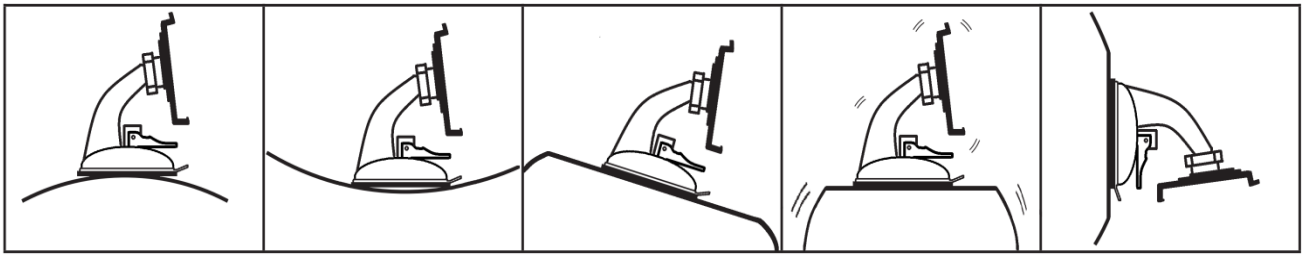


※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右が逆になります。

取付けについてのご注意

●付属のスタンドを使用してください。
●エアーバックカバー部及び作動時の妨げになる場所には取付けないでください。
（取付けについては安全を考慮して、ディーラーや販売店にご相談ください。）
●フロントガラスには取付けないでください。
●スタンドを取り付ける際は、凹凸の無い平らな面をお選びください。
●柔らかい材質、布製、革製の面には取付けできません。
●下記のような場所には取り付けないでください。
※スタンドが落下するおそれがあります。

・密着しない曲面 例）凸面　・密着しない曲面 例）凹面　・傾いた面　・不安定な面　・垂直な面



●ダッシュボード上に吸着ベース板を貼る際は、*前方視界を十分に確保*でき安全基準を満足できる位置を決定後貼り付けてください。
●吸着ベース板を貼り付ける前にワンセグTV用アンテナを伸ばしフロントガラス等にあたらないことを確認してください。
●吸着ベース板を貼付け位置が決定したら、貼付け面のほこりや油分などを十分にふき取ってから貼り付けてください。
●両面粘着テープの貼付けは一回のみです。*貼り直しはしないでください。*
（貼付け強度が極端に落ち、落下の恐れがあります。）
●両面粘着テープは貼付け直後は接着強度が弱いため、24時間以上おいてから製品を取り付けてください。
●両面粘着テープを剥がすときは、強力な粘着テープを使用しているため、貼付け面を傷めたり、破れたりすることがあります。
●ご使用になるまえに、吸盤、ロック、粘着テープ等が*確実に取付いていることを確認*してからご使用ください。
●*直射日光の当たる高温になる場所に長時間放置しないでください。*
発火、変形、劣化による落下の原因になることがあります。
●ドライブレコーダーを使用されるときは、ドライブレコーダーモードにして映像範囲と画面の視認角度を調整の上、設置位置をお決めください。

《注意》

ダッシュボードの上など直射日光の当たる高温になる場所でご使用になる場合
ご使用にならないときは外して高温にならないところで保管してください。
また、長時間車から離れる場合は本体をホルダーから外し保管してください。
落下による故障の原因になる場合があります。

スタンドの取付け方法

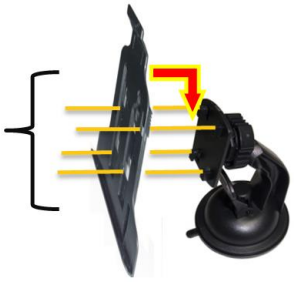
運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付位置を決めます。

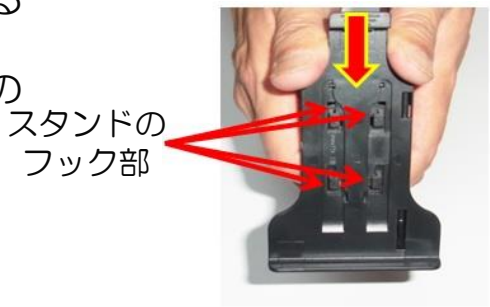
①吸盤ベース板の貼付け

貼付面のほこりや油分などをきれいにふき取り、
両面テープの台紙をはがし取付面に強く押し当てる。
（貼付け後は24時間以上置いてください。）

②スタンドの組立て

・デバイスホルダーの4個の穴にスタンドのフック部を入れる。
・スタンドのフック部にカチッとロックするように、デバイスホルダーを矢印の方向に両手でスライドさせる。
※デバイスホルダーは強度上ロックを強くしています。スライドさせる際は強め押してください。
※デバイスホルダーとスタンドが組立てて納入されている場合は、フック部がしっかりロックされていることを確認下さい。
※デバイスホルダーをスタンドから外してお使いの際は、逆方向に両手でスライドさせてはずしてください。





③スタンドの固定

吸着ベースの表面をきれいにふき取りスタンドを置き、レバーを倒して固定する。

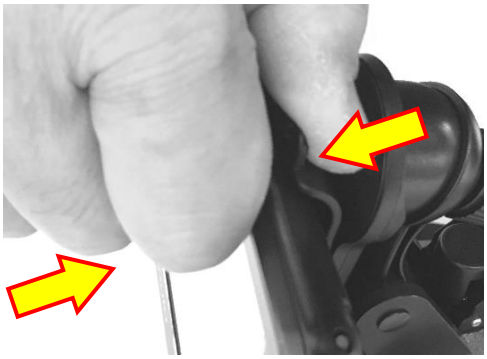
※形状、イラストは実物と異なることがあります。

※形状、イラストは実物と異なることがあります。

④製品の固定

スタンドの下のツメに合わせ製品本体をカチッとロックする。
（上のツメがカチッとロックしたことを確認してください。）

下のツメ部を合わせ上をロックする。



※上のツメを親指で、はさむように強く押してください。
液晶パネル面には触れないようにしてください。

⑤角度調整

固定ナットをゆるめ、
お好みの角度に調整して
固定ナットをしめる。

※形状が異なる
場合がございます。

⑥設置

ドライブレコーダーのカメラの角度、
見やすい角度になるように角度に調整して、
製品の下部がダッシュボード面に当たるように
固定ロックナットを締めてください。
製品が動かない程度にしめてください。
（過度にしめすぎないようにしてください。
ロック機構が壊れる場合があります。）

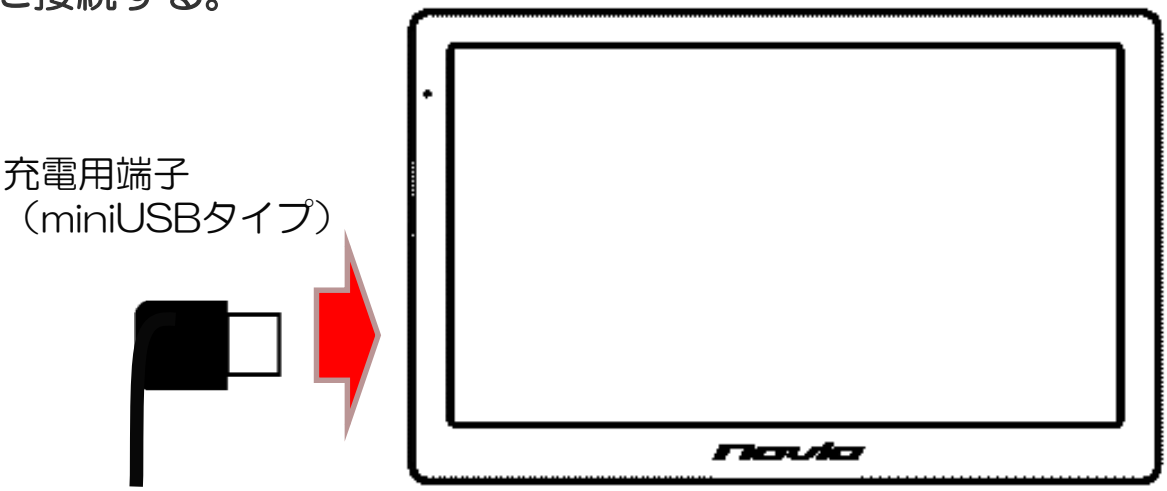
《 注意 》

運転前に必ず、吸盤、固定ナット、粘着テープ、ロックが確実に取付いているか確認の上ご使用ください。

※万が一、落下等による液晶、タッチパネルの破損がございましても、補償対象外となりますのであらかじめご了承願ください。

電源配線の方法

①DC電源アダプターの端子側面の電源ソケット（miniUSBタイプ）に接続する。



※本体への接続時、ソケットにストレスがかからないように
　接続してください。
プラグやソケットの接続不良になる場合があります。

② ＤＣアダプターを
車のシガーソケットにさす。
※シガーソケットの中に異物がないことを確認してから挿入してください。
※ＤＣアダプターは真直ぐにゆっくりさしてください。
※奥までしっかりとさして下さい。
※配線は運転に支障内容に配線してください。

※配線する場合は、アダプターの根元から折り曲げないようにしてください。
断線、発火の原因になることがあります。

※形状が異なる場合がございます。

8.　本体電源の取扱方法

電源のON/OFFの操作方法についてご案内いたします。

1.　車載用ＤＣアダプターの使い方

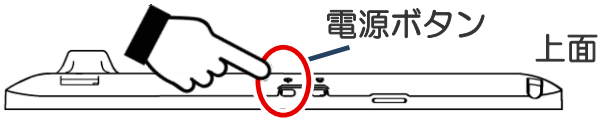
本機は、お車のシガーソケット（DC12Vまたは24V）より付属アダプターを使用して、本体に5Vを供給し駆動します。

2.　イグニッションキー連動電源ON/OFF機能について

本機は、電源の連動ON/OFF機能(オートスタート機能）を搭載しています。
お車のシガーソケットに接続した場合、イグニッションキーのON/OFFで本体の電源も自動的にON/OFFができたいへん便利です。

※シガーソケットの電源ON/OFFがイグニッションキーに連動しているお車に限ります。
※アイドリングストップ車の場合、エンジン再始動時に電源がオフする場合がございます。

3.　電源の入れかた／切りかた



＜電源を入れるとき＞

①電源ボタンを長押しする。
（約3秒間押し続ける。）
②起動画面が表示されます。
③しばらくすると
設定メニューが表示されます。

起動画面　　設定メニュー

＜電源を切るとき＞

①電源ボタンを長押しする。
（約3秒間押し続ける。）
②終了画面が表示され、
約５秒後に自動的に切れます。

- 「電源オフ」を押すとすぐに電源が切れます。
- 「スタンバイ」を押すとスタンバイモードになり再度電源を入れるとき早く立ち上がります。
- 「キャンセル」を押すと元の画面に戻します。

スタンバイ　　電源オフ　　キャンセル

※ナビ使用時に電源ボタンを短押しした場合、メニュー画面に戻りますが、
他のモードに切り替える場合はナビを終了してから切り替えてください。

4.　充電のしかた

①車載用DCアダプターを接続します。（充電中は電源ランプが赤点灯）
②電源ボタンＯＦＦにして充電を開始します。
③電源ランプが消えれば充電完了です。（フル充電時間約4時間）
※ご使用環境により変動します。

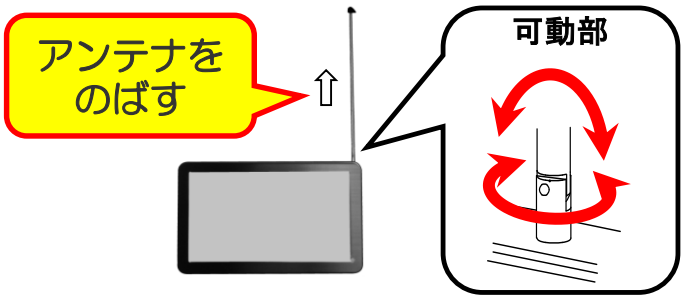
※充電残量が０になった場合、アダプターをつないでも
電源が立ち上がらない場合があります。
その際は電源OFF状態で、充電を十分におこなってから
電源をいれてください。

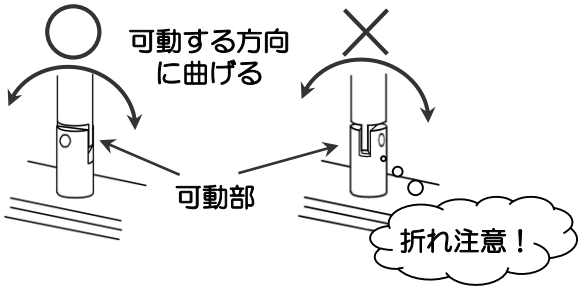
9.　ワンセグＴＶ

9-1.　チャンネル設定（スキャン操作）

はじめてテレビをご覧になる前に、下記の方法でチャンネル設定を必ず行ってください。

①見晴らしの良く受信環境の良いところでアンテナをのばす。
アンテナは上部右側に収納されています。
引き出すときは、まっすぐにゆっくりと可動部が出るまで引き出して下さい。
しまうときも同様にまっすぐにゆっくりと押しこんで下さい。



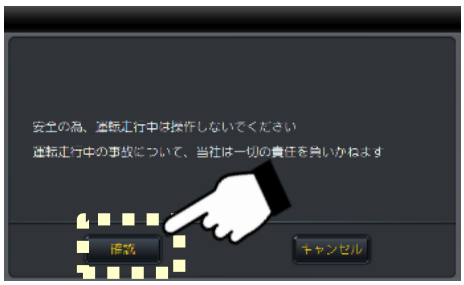


※アンテナの回転方向を確認の上、向きをかえてください。

＜注意＞
※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。

②「テレビ」をタッチ
メニュー画面から「テレビ」をタッチする。

③「確認」をタッチ
警告文が表示されますので内容を理解して、「確認」をタッチする。



④ 🔧 をタッチ

お近くの受信可能な放送局を設定するためにスキャン操作を行います。
　設定後は、地域が変わらなければこの操作は必要ありません。

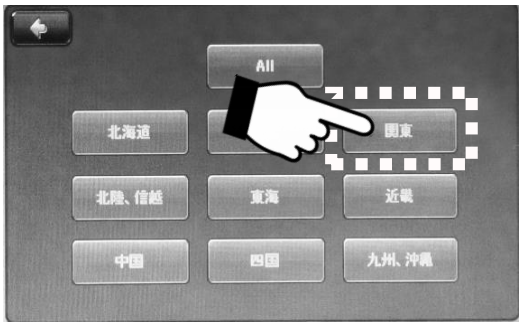
※機種によりボタンのレイアウトが違う場合があります。

⑤「地域」を選択

ご使用される地域を選択します。
（選択せずにスキャンもできますが、地域を選択するとスキャン時間が短くなります。）
※放送協がうまく取れない場合は、「ALL」を選んでスキャンしてください。

⑤-1　「地域」をタッチ

⑤-2　地域を選ぶ（例　関東をタッチ）



⑤-3　都道府県を選ぶ（例　東京をタッチ）

⑤-4　ご地域にある放送局を表示

※スキャン操作後に、実際に受信可能な放送局を表示されます。
（この時点では受信できない放送局も含まれる場合があります）

⑥「スキャン」操作

スキャン操作をすることにより、実際に受信可能な放送局をさがし設定します。
※スキャン操作をするときは必ず受信環境のよいところでおこなってください。
受信環境が悪いところでスキャンを行いますと放送局が設定されない場合があります。

⑥-1「スキャン」をタッチ

受信可能な放送局を検索開始します。

⑥-2「適用」をタッチ

スキャン完了後、適用を押すことにより放送局の設定ができます。

チャンネル
設定完了

スキャンが終わると
「スキャン完了」
が表示

お車等で長距離移動の場合、放送局のエリアが変わる為受信できなくなることがあります。
その際は、再度新しい地域での再スキャン、もしくはALLで再スキャンをおこなってください。

9-2.　ワンセグＴＶをみる

①チャンネルをかえる

チャンネル変更矢印（▲、▼）をタッチしてお好みのチャンネルに変更します。
▲：チャンネル（－）
▼：チャンネル（＋）

②音量を調節する

・音量変更矢印（＋、-）をタッチしてお好みの音量に調整します。
＋：音量を上げる
－：音量を下げる

・　ボタンをタッチすると消音　になります。
（音はでません。）

9-3　ワンセグTVの各種設定

「　」をタッチすると、各種設定を変更できます。

＜設定内容＞
チャンネル：スキャン済みの放送局表示
基本設定　：言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕
ビデオ　　：画面のアスペクト比（画面の縦横比）の設定
情報　　：バージョン情報

9-3-1　設定「チャンネル」

「チャンネル」をタッチすると、受信放送局が表示されます。

放送局を設定する際は、
『9-1.　チャンネル設定（スキャン操作）』（18ページ）
参照願います。

9-3-2　設定「基本設定」

「基本設定」をタッチすると、
言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕　の設定ができます。

設定の仕方

①設定項目の「▼」をタッチします。
②現れた選択項目から項目を選び
　タッチします。
③項目が切り替わりします。
④選択後、「適用」をタッチします。

《 言語 》

設定画面の言語の切替ができます。
日本語　⇔　English
- 日本語　：設定画面が日本語で表示されます。
- English　：設定画面が英語で表示されます。

《音声チャンネル構成》

番組プログラムに音声チャンネルがある場合のみ、切換えが可能です。
主音声　⇔　副音声　⇔　二重音声

《 音声スイッチ》

放送中の番組プログラムに音声スイッチがある場合のみ、表示が出て切換えが可能です。
オーディオ１　⇔　オーディオ２

※放送番組により、「**音声スイッチ**」または「**音声チャンネル構成**」を変えることにより
　二ヶ国語、副音声、ステレオ音声（ステレオイヤホン使用時）をご利用できます。
　番組により音声切替方法が違いますので実際に確認の上おたのしみください。

チャンネル変更する時は、*オーディオ 1*に戻してから切換えてください。
（電源OFF→ONやテレビ以外の設定に切換えた場合は自動的に*オーディオ 1* に戻ります。）

《 字幕 》

字幕放送のときに字幕を表示します。
無効　⇔　日本語
- 無効　　：字幕放送時の字幕は画面に表示されません。
- 日本語　：字幕放送時の字幕は表示されます。

9-3-3　設定「ビデオ」

「ビデオ」をタッチすると、画面のアスペクト比の設定ができます。

≪ アスペクト比 ≫

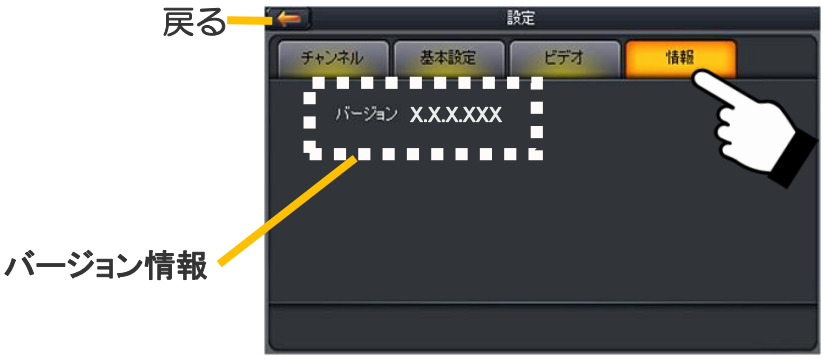
画面サイズの調整ができます。

画面サイズ調整　⇔　レターボックス

- **画面サイズ調整**：レターボックス画像の上下の黒枠をなくした画像（上下をのばした画像）
- **レターボックス**：横長の画面を上下に黒枠が出た状態で表示されます。

9-3-4　設定「情報」

「情報」をタッチすると、バージョン情報が表示されます。



9-4. ワンセグTV （EPG番組表）

EPG（電子番組表）をみる

EPG（電子番組表）でその日の番組内容を確認できます。

① EPG（電子番組表） をタッチします。

②左の番組の中から詳細を知りたい番組の i をタッチすると、番組情報が表示されます。

③右の番組予定表をタッチするとその番組の情報が表示されます。

① をタッチ　② i をタッチ　③ 番組情報及び番組予定表表示

お好みチャンネル

普段よく見るチャンネルを「お好みチャンネル」(♡)に集め
お楽しみいただけます。

① 「EPG（電子番組表） 」をタッチします。

②右のチャンネルリストからお好みの放送局の右の「☆」をタッチすると「★」に変わり
表示されます。

③「 ♡ 」ボタンをタッチすると、お好みのチャンネルのみ表記されます。

①「 」をタッチ

②お好みのチャンネルの「☆」を
タッチして「★」にする。

③「 ♡ 」をタッチすると
お好みチャンネルが表示されます。

9-5. ワンセグTV　録画／再生

※機種によりボタンのレイアウトが違う場合があります。

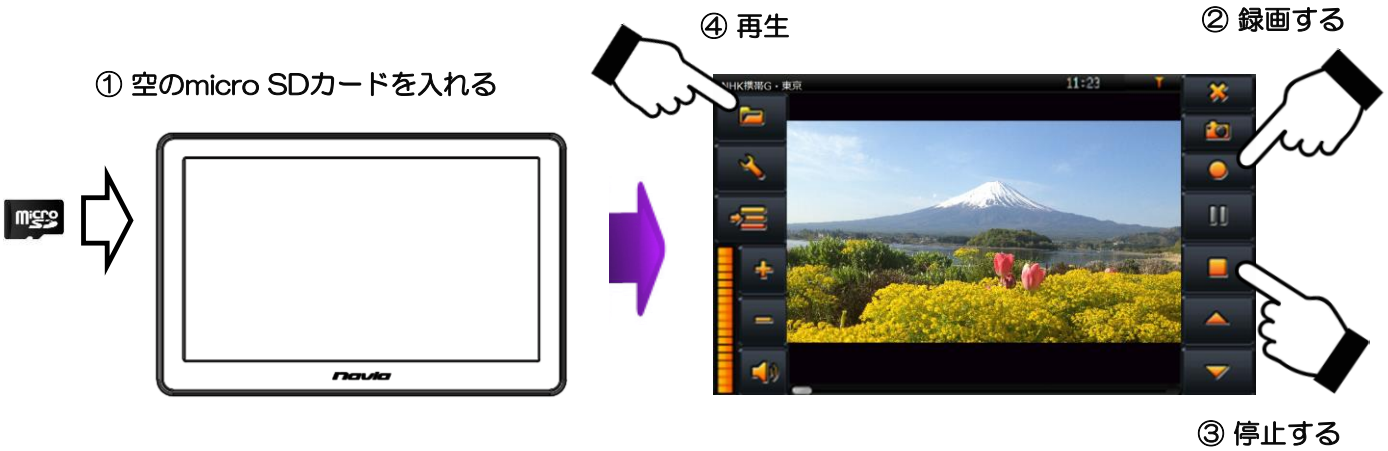
ワンセグTVを見ながらmicroSDカードに動画、静止画を撮ることができます。

ワンセグTVを録画／再生する

ご覧になっているテレビ番組を、micro SDカードに録画して
お楽しみいただくことができます。

① 空のmicroSDカードをいれる。
② 録画したい時に「 ● 」をタッチすると録画が開始します。
③ 終了するときは「 ■ 」をタッチします。
④ 再生するときは、「 🗀 」をタッチし、録画したデータを選び
「OK」をタッチする。（放送局名、録画日時がファイル名になります）

※設定の「メディア」の中の「動画」で再生はできません。
「テレビ」の「 🗀 」からご覧ください。



ワンセグTVを静止画／再生する

ご覧になっているテレビ番組の静止画を、micro SDカードに
撮ることができます。

撮りたい画面のときに「 📷 」をタッチする

① 空のmicro SDカードをいれる。
② 静止画を撮りたい時に「 📷 」
をタッチする。

③ 再生するときは、
「メディア」⇒「写真」⇒SDMMC⇒Recorder⇒Snapshotをタッチし、
録画したデータを選び 「OK」をタッチする。
（放送局名、録画日時がファイル名になります）

※「テレビ」の「 🗀 」の中からは再生はできません。
「メディア」の「写真」からご覧ください。

10. ドライブレコーダー（Dレコーダー）

ドライブレコーダー（Dレコーダー）機能で、前方画像をmicroSDカードにビデオ録画することができます。

録画時間目安は付属microSDカード（8GB）で約１時間です。
その時間以降は順次消去され新しい録画が記録されていきます。

※録画ファイルは、短い時間に区切って（１ファイル約120MB（約１分））複数のファイルに録画されます。
（撮影環境により録画時間は変動します。）

※録画されたデータは、いっぱいになると古いデータから消され上書きされます。

※録画中、下記の場合に録画中のファイルは上書き禁止になります。（保存したいとき、下記操作をする。）

- 録画中に、上書き禁止ボタン「 🔒 」をタッチした場合
- 本製品に衝撃が加わった時（Gセンサーが作動した場合）

「ドライブレコーダー」画面の説明

「ドライブレコーダー」画面上のボタンを説明します。

ドライブレコーダーの画面

操作メニュー
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧

① 「 🔧 」ボタン：（設定モード）：各種設定をする。

② 「 ― 」ボタン：ドライブレコーダー画面を閉じる。（録画中は録画続行）

③ 「 ⬅ 」ボタン：ドライブレコーダー機能を閉じる。（録画は停止）

④ 「 🔒 」ボタン：録画中に押すとその時の録画ファイルのみ上書き禁止に
（上書き禁止）　　になります。動画を残したいときに使用してください。
（製品上部の上書き禁止ボタンと同機能（１０ページ））

⑤ 「 ▶ 」ボタン：録画モード⇔再生モード切替ができます。
（録画／再生切替）　　（再生モードでは録画しません。）

⑥ 「 ▼▲ 」ボタン：<録画モード> 明るさ調整（EV）できます。（-3～0～3）
（上下）　　（再生モードではこのボタンは使用しません。）

⑦ 「 ◀▶ 」ボタン：<再生モード> 停止時：録画したファイルを選択します。
（左右）　　再生時：再生速度調整できます。
（1/8⇔1/4⇔1/2⇔1⇔2⇔4⇔8）
（録音モードではこのボタンは使用しません。）

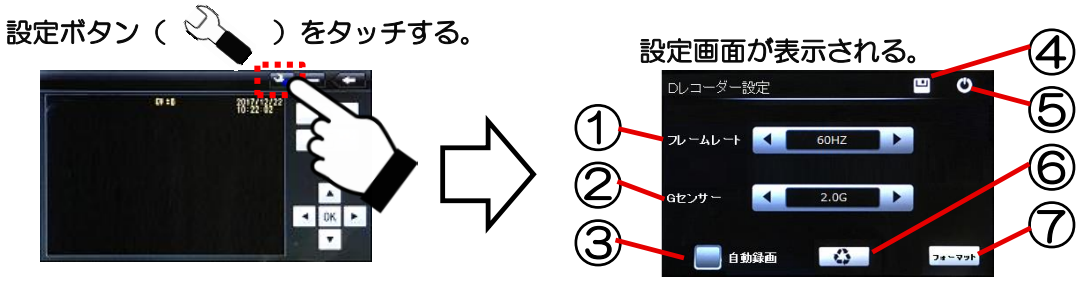
⑧ 「 OK 」ボタン：<録画モード>：録画の 開始⇔停止ができます。
<再生モード>：再生の 開始⇔一時停止ができます。

10-1 ドライブレコーダー設定

設定画面の説明

Dレコーダー設定では、録画時の設定をすることができます。

ドライブレコーダーの画面の設定ボタン（　）をタッチすると設定画面に切替ります。



※録画モードのとき設定ができます。再生モードになっているときは「▶」で録画モードにしてください。

① **フレームレート**：　フレームレートの変更　50Hz⇔60Hzの切替。

信号機は高速で点滅しているためカメラと同期して消灯して録画される場合があります。

この場合は切り替えてお試しください。（地域により違います。）

② **Gセンサー**：　G-センサーの感度調整　1.2G／1.6G／2.0G

衝撃を受けた時、録画中のファイルは上書き禁止になります。

1.2G：軽衝撃で動作します。

1.6G：中衝撃で動作します。

2.0G：強衝撃で動作します。

③ **自動録画**：「✔」をつけると、自動録画設定されます。

電源がオンすると自動的にスタート録画がスタートします。

④「　」：設定を変更した状態でドライブレコーダー画面に戻る。

⑤「　」：設定を変更せず元の状態でドライブレコーダー画面に戻る。

⑥「　」（初期化）：工場出荷状態に戻します。

⑦「**フォーマット**」：ドライブレコーダー用アプリのフォーマット化します。

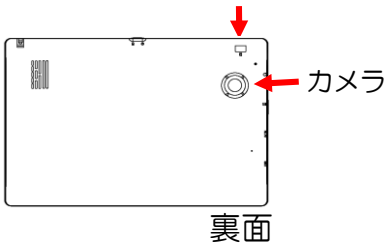
※初めて使用するmicroSDカードは、必ず初めにこのフォーマットを行ってください。

10-2 録画の準備

ドライブレコーダー機能の準備

①microSDカードを入れる。

ドライブレコーダー用のmicroSDカードが
入っていることを確認する。
(工場出荷時に製品本体裏面に装着済)
※カチっと奥まで入っていることを確認ください。



②「ドライブレコーダー」に設定する。

メインメニューからドライブレコーダー（Dレコーダ）アイコンをタッチすると
ドライブレコーダー（Dレコーダ）の画面が表示されます。

「Dレコーダ」をタッチ

「Dレコーダ」の画面を表示

microSDカードの設定（フォーマット）

はじめて録画する場合microSDカードを専用フォーマットする必要があります。
下記に沿って、カードをフォーマットしてください。
一度フォーマットしたカードは、再度フォーマットの必要はありません。
（未フォーマットの場合「Card not formatted」と表示されます。）

① microSDカードのフォーマット

- ドライブレコーダー画面の設定ボタン「 」を押し設定画面にする。
- フォーマットボタンを押しフォーマットをする。
- 「はい]を押すとフォーマットされる。
- 「 」を押すとドライブレコーダーの画面に戻る。

設定「 」を押す

「フォーマット」を押す

「はい」を押す

＜注意＞

- フォーマットの際は、必ず付属DCアダプターで電源通電して行ってください。
- フォーマット中は途中で電源を切ったり、他の操作を行なったりしないでください。

※途中で電源が切れたり強制的に終了した場合、microSDカードが壊れることがあります。

10-3 録画をする

※ドライブレコーダー専用フォーマットされたmicroSDカードが入っていることを確認

手動で録画をする場合

①「OK」を押す。

右上に「●REC」が赤点滅し録画が開始します。
現在時刻が黄色文字で点灯します。
録画時間が赤字で表示されます。

※映像画面を２回タッチすると映像が全画面表示になります。
再度２回タッチすると元の画面に戻ります。

画面＋操作部表示

⇔

全画面表示

自動で録画をする場合

「自動録画」に設定すると、電源が入った時に常に録画を開始します。
自動録画オフ時は、上記録画設定時のみ録画状態になります。

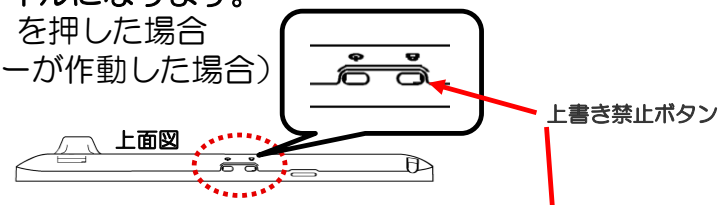
①設定「 」ボタンを押し設定画面にする。
②「自動録画」ボタンを押し、

設定「 」を押す

「自動録画」を押す

上書き禁止録画について

本機種は、録画されたデータはmicroSDカードの容量がいっぱいになると
古いデータから消され上書きされます。
ただし、下記操作、状態で上書き禁止ファイルになります。
① 録画中に、上書き禁止ボタン「 」を押した場合
②本製品に衝撃が加わった場合（Gセンサーが作動した場合）



（黄）：上書きボタンを押した場合
（青）：Gセンサー（衝撃）が加わった場合
（赤）：Gセンサーかつ上書きボタンを押した場合

10-4　再生する

本機種で撮影録画した動画を下記の方法で再生することができます。

本製品で再生する場合

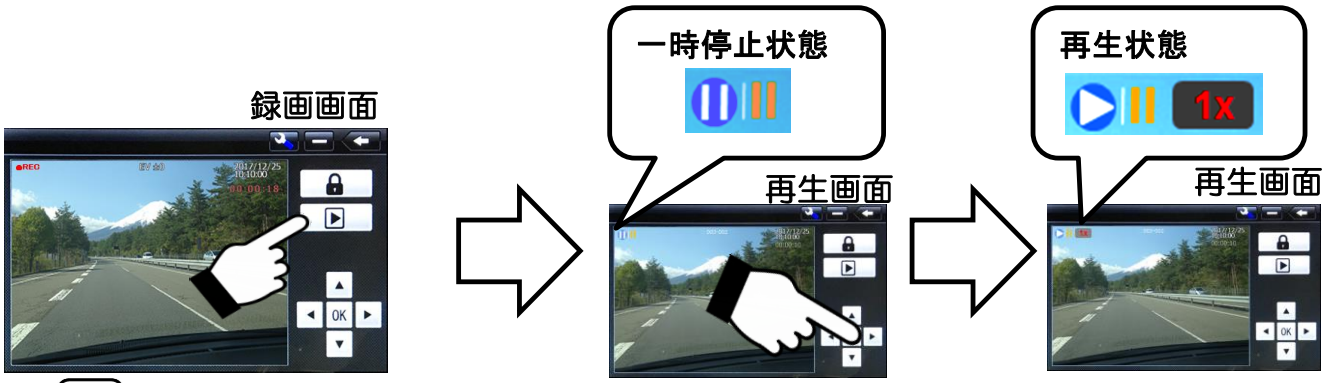
① 録画/再生切替「 ▶ 」を押し再生画面に切替える。

再生画面に切替り、一時停止状態になる。

②「OK」ボタンを押すと再生し始めます。

一時停止状態になっているので「OK」ボタンを押すと再生し始めます。

再度「OK」ボタンを押すと一時停止になります。



① ▶ を押す。　② OKを押す。　再生開始する。

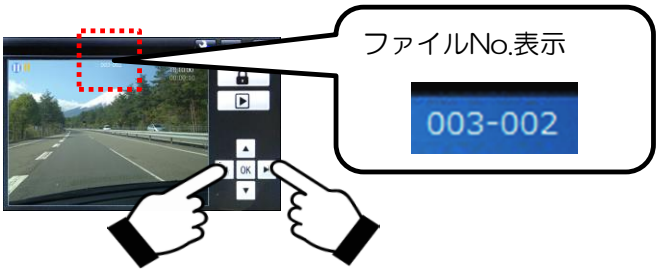
③ 一時停止状態で「◀ ▶」ボタンを押すと録画ファイルが選択できます。

選択後、「OK」ボタンを押すと再生します。

《ファイルNo.表示について》

前３桁数字：電源オン/オフする毎に番号が上がります。

後３桁数字：120MB（約１分）ごとにファイルが作られ番号が上がります。

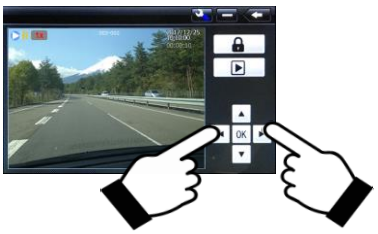


録画ファイルを選択

④ 再生状態で「◀ ▶」ボタンを押すと再生速度が変わります。

〈変化速度〉

1/8x⇔1/4x⇔1/2x⇔1x⇔2x⇔4x⇔8x



再生速度を選択

パソコンで再生する場合

本機で録画したmicroSDカードをパソコンで再生する場合は、microSDカードに保存されている専用ビューアで再生してください。
一般の動画再生プレーヤでは再生できません。
（このビューアは、本機でmicroSDカードをフォーマットすることにより
カードに保存されます。）

●動作環境

対応OS	Windows　7/8/8.1/10
CPU	Intel Pentium4　2.4GHz以上
メモリー	1GB以上
HDD空き容量	1GB以上
ディスプレイ	XGA（1024 x 720pix）以上
その他	microSDカード接続可能なこと

※上記条件を満たしたパソコンについて動作を保証するものではありません。
※ご使用の環境によっては正しく動作しない場合があります。

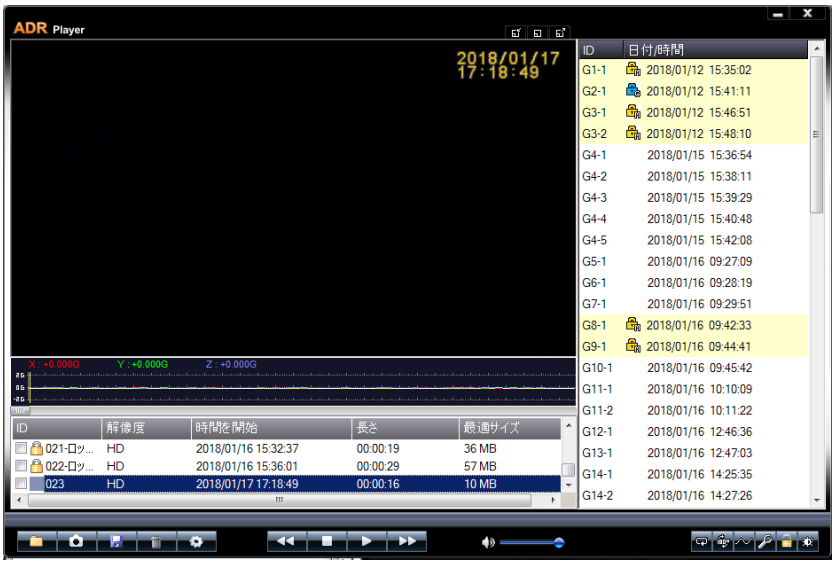
＜設定方法＞

①パソコンにmicroSDカードを差す。（microSD対応していない場合は市販のカードリーダーをご使用ください。）

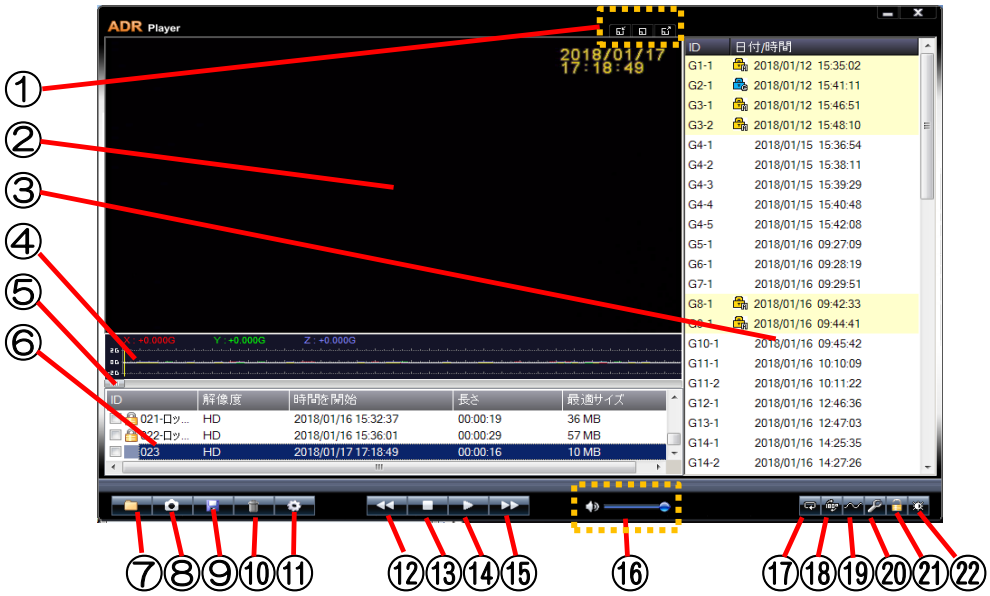
②microSDカードを読み取り、「ADRPlayer」をひらく。

ADRPlayerを開くと下記画面作面が表示されます。

操作画面



＜操作画面の説明＞



表示

① **画面表示サイズ調整** ：ビューア表示サイズを変更できます。

② **再生画面**：録画した再生画面を表示します。

③ **ファイルリスト**：読み込んだファイルを表示します。

④ **Gセンサー** ：録画した時の衝撃度(G値）をグラフ表示します。

⑤ **再生進捗バー**：再生時の進み具合を表示します。

⑥ **録画リスト**：録画を開始した日付/時間のリスト表示します。

⑦ **ファイル取込み**：ファイルを取り込みます。
（本機で録画されたデータはmicroSDを開くとリストに表示）

⑧ **スナップショット**：ビューアで表示した画面を静止画として保存できます。

⑨ **保存**：動画ファイルをAVI形式に変換して指定の保存場所に保存できます。
リストからファイルを選び、保存ボタンを押し保存先を指定する。

⑩ **削除**：動画ファイルを削除します。
リストからファイルを選び、削除ボタンを押すと削除されます。

⑪ **設定**：microSDカードのフォーマット、ビューアの言語設定　等の設定を行います。

⑫ **再生速度調整（遅）**：　再生速度を遅くします。（調整範囲：1/5～5倍）

⑬ **停止** ：再生を停止します。

⑭ **再生/一時停止** ：選択されたファイルを再生/一時停止をします。

⑮ **再生速度調整（早）**：再生速度を早くします。（調整範囲：1/5～5倍）

⑯ **音量調整** ：音量を調整します。

⑰ **リピート** ：再生しているファイルをリピート（繰り返し再生）オン／オフ切替えます。

⑱ **左右反転** ：画像を左右反転させます。

⑲ **G値表示** ：Gセンサーのグラフを表示／非表示切り替えます。

⑳ **ビデオリペア** ：壊れたファイルが修復できる場合があります。
（ファイル状況により修復できない場合があります。）

㉑ **ファイルアンロック** ：上書き禁止されたファイルを解除します。

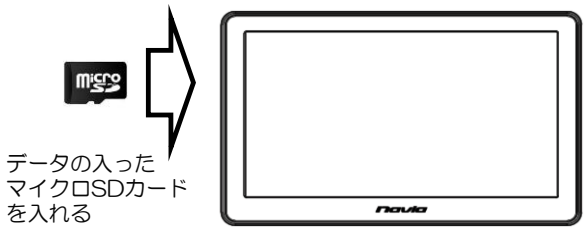
㉒ **色調整** ：再生画面の　明るさ/コントラスト/色合い　の調整ができます。

11. メディア

本メディア機能ではパソコンなどからマイクロSDカードにいれた
動画、音楽、写真をお楽しみいただけます。

①音楽などの入ったマイクロSDカードをいれる。

パソコンなどからお好みの
動画、音楽、写真のデータを
入れたマイクロSDカードを
側面に入れる。



②「メディア」機能にする

メインメニューから「メディア」アイコンをタッチして
お好みの**動画、音楽、写真**　お選びください。

メディアメニュー（選択画面）

③お好みのメディア内のソースを再生する。

下記のボタン操作に従ってお楽しみください。

動画の場合

	前の画面に戻る。		ビデオファイルリスト画面に戻る。
	一時停止／再生を切替える。		次の動画に進む。
	丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。		丸い音明るさ調整ボタンの左右をタッチして音明るさを調整する。

音楽の場合

	前の画面に戻る。		「音楽ファイル一覧」画面に戻る。
	メディアメニュー画面に戻る。		丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。
	前の曲に戻る。		次の曲に進む。
	一時停止／再生を切替える。		停止する。
	リピート無　：リピート無で再生します。 シングルリピート：一曲のみ繰り返し再生します。 フルリピート　：全曲繰り返し再生します。 ランダムリピート：ランダムで再生します。		

写真の場合

	前の画面に戻る。		フォトファイルリスト画面に戻る。
	画面を拡大する。		画面を縮小する。
	一つ前の写真に戻る。		次の写真に進む。
	画面を右に90°回転する。		写真画像を全画面にする。（ダブルタッチで元画面に戻る）
	スライドショーにする。（約5秒起きに写真が変わります）		

※動画再生中に画面中央を2回タッチすると画面が大きくなります。
　再度2回タッチすると元のサイズに戻ります。

動画、音楽、写真の再生可能な条件は下表のとおりです。

	再生可能データ フォーマット	ビットレート	解像度	フレームレート
音楽	MP3	320kbps	／	／
	WMA	64kbps	／	／
動画	MPG	1500kbps	320x240 以下	25fps
	AVI	1500kbps	480x272 以下	30fps
	WMV	1500kbps	480x272 以下	30fps
	ASF	285kbps	320x240 以下	25fps
写真	JPG、BMP	／	2560x1600　以下	／

※上記の条件であってもカードによっては、再生できない場合がございます。
その際は、カードを変えてご使用ください。

11-1.動画

パソコンなどからmicroSDカードに入れた動画(ビデオ)をお楽しみいただけます。

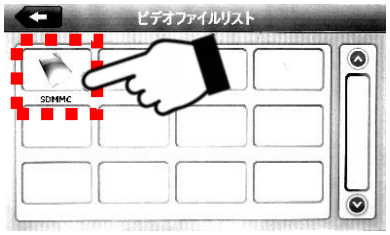
動画 を選ぶ

※動画の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

① メディアメニューから「動画」アイコンをタッチします。
② 「 SDMMC]をタッチします。
（さらにホルダーがあるときは選び、動画を表示してください。）
③ お好みの動画を選んでタッチすると音楽が始まります。

メディアメニュー（選択画面）

「動画」をタッチ



「SDMMC」をタッチ

見たい「動画」をタッチ

動画 をみる

操作画面で 動画 の再生の操作を行います。

	前の画面に戻る。		「動画ファイル一覧」画面に戻る。
	一時停止／再生を切替える。		次の動画に進む。
	丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。		丸い音明るさ調整ボタンの左右をタッチして音明るさを調整する。

戻る

一時停止/再生

動画の進捗表示

音量調整ボタン

動画ファイル一覧画面に戻る

次の動画へ進む

明るさ調整ボタン

小 ←→ 大
音量調整

暗 ←→ 明
明るさ調整

※本機で再生出来る動画のサイズは標準画質（SD）までです。高画質（HD）には対応しておりません。
※動画データによっては本機で再生出来ないものもあります。
※microSDカードによっては、再生されないこともあります。

11-2. 音楽

パソコンなどからmicroSDカードに入れた音楽をお楽しみいただけます。

音楽を選ぶ

※音楽の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1. メディアメニューから「音楽」をタッチします。
2. 「SDMMC]をタッチします。
   （さらにホルダーがあるときは選び、音楽を表示してください。）
3. お好みの音楽を選んでタッチすると操作画面にかわり、音楽が始まります。

メディアメニュー（選択画面）

「音楽」をタッチ

「SDMMC」をタッチ

聞きたい「曲」をタッチ

音楽を聴く

操作画面で曲の再生の操作を行います。

	前の画面に戻る。		「音楽ファイル一覧」画面に戻る。
	メディアメニュー画面に戻る。		丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。
	前の曲に戻る。		次の曲に進む。
／	一時停止／再生を切替える。		停止する。
／／／	リピート無 ：リピート無で再生します。 シングルリピート ：一曲のみ繰り返し再生します。 フルリピート ：全曲繰り返し再生します・。 ランダムリピート ：ランダムで再生します。		

操作画面

※本機で再生出来る動画のサイズは標準画質（SD）までです。高画質（HD）には対応しておりません。
※音楽データによっては本機で再生出来ないものもあります。予めにご了承ください。
※メディア（音楽、ビデオ、フォトアルバ ム）の入ったmicroSDカードは、*ドライブレコーダー用の挿入口には入れないでください。*データが消去されることがあります。

＜音楽を聴きながらナビ操作する場合＞
音楽を再生し、 からメニュー画面⇒ナビを立ち上げると音楽再生したままナビ操作できます。

11-3. 写真

パソコンなどからmicroSDカードに入れた「写真」をお楽しみいただけます。

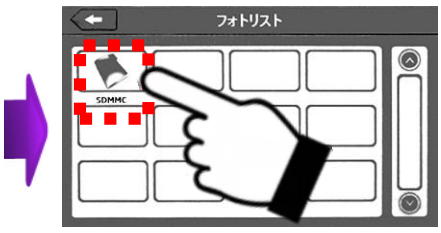
写真 を選ぶ

※写真の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1. メディアメニューから「写真」をタッチします。
2. 「SDMMC] ⇒「Photo」の順にタッチします。
   （さらにホルダーがあるときは選び、写真を表示してください。）
3. お好みの写真を選んでタッチすると写真画像が表示。

メディアメニュー（選択画面）

「写真」をタッチ



「SDMMC」をタッチ

見たい「写真」をタッチ

写真をみる

操作画面で 写真の画像操作を行います。

	前の画面に戻る。		「写真一覧」画面に戻る。
	画面を拡大する。		画面を縮小する。
	一つ前の写真に戻る。		次の写真に進む。
	画面を右に90°回転する。		写真画像を全画面表示にする。 （ダブルタッチで元画面に戻る）
	スライドショーにする。 （約5秒起きに写真が変わります）		

戻る　写真一覧画面に戻る

拡大　縮小　右90°回転　全画面表示　スライドショー　戻る　進む

12　設定

メインメニューから「設定」アイコンをタッチします。
各メニューのアイコンをタッチして各種の設定ができます。

設定のメニュー画面

12-1　ボリューム 設定

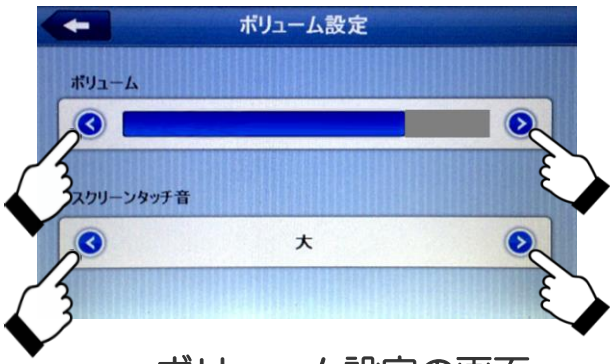
ボリューム設定で音量やタッチ音の調整ができます。

1．「設定」内の「ボリューム」をタッチする。
2．ボリュームの「 ◀ ▶ 」をタッチして音量を調節する。
3．スクリーンタッチ音の「 ◀ ▶ 」をタッチしてタッチ音を調整する。
　（　OFF／小／大　）

1.「ボリューム」をタッチ

設定のメニュー画面

2.3.「 ◀ ▶ 」で調整



ボリューム設定の画面

12-2　言語 設定

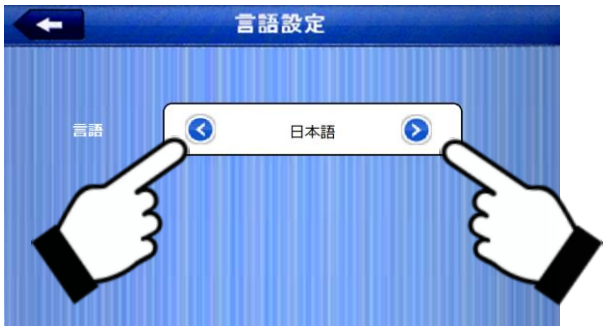
設定メニューの言語を日本語／英語に切換えることができます。
※ナビゲーションのメニューは日本語のみです。

1．「設定」内の「言語」をタッチする。
2．「 ◀ ▶ 」をタッチし言語設定を選ぶ。（初期設定は日本語です。）

1.「言語」をタッチ

設定のメニュー画面

2．言語を選ぶ



12-3　GPS 情報

「GPS情報」からGPSの受信状況が確認できます。

1．「設定」内の「GPS情報」をタッチする。
2．ＧＰＳからの情報を確認することができます。

ナビゲーションとは、4個以上のGPS衛星からの電波を受信して現在地を測位し、
地図上に目的地までの距離や時間や方向を表示して案内する機能です。
GPS衛星の受信状況を確認するためにこの機能を使い、GPS衛星の情報を表示します。

《注意》
①GPSは、出来るだけ衛星から垂直に電波を受けやすいようにセットしてください。
②測位する場所は、衛星からの電波をさえぎるような高い建物や木々などがなく
　上空の視界が開けた、見晴らしの良いところで行ってください。
③初めて測位するときや前回測位した場所から300km以上離れている場合は、
　コールドスタートとなり数十分時間がかかる場合があります。
（一度受信しましたらその後はウォームスタートとなり受信は速くなります）

1.「ＧＰＳ情報」をタッチ

設定のメニュー画面

2.「 ◀ 」をタッチ

12-4　ファクトリーリセット 設定

設定を工場出荷時の状態に初期化します。

1．「設定」内の「ファクトリーリセット」をタッチする。
2．「はい」をタッチすると初期化します。

1.「ファクトリーリセット」をタッチ

設定のメニュー画面

2.「はい」をタッチ

※「ファクトリーリセット」をすると「ナビ設定」も初期化される場合がありますので
その場合は39ページの「ナビ設定」の方法にしたがって設定を行ってください。

12-5　バックライト 設定

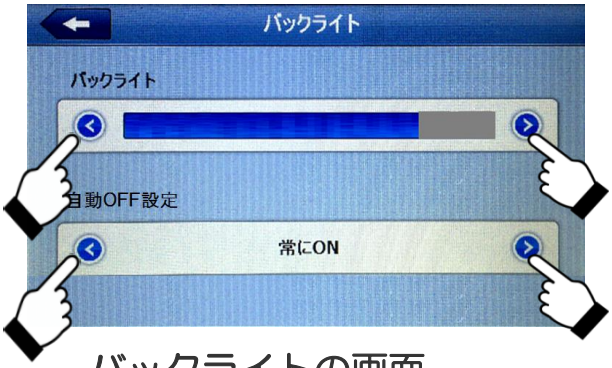
バックライト設定で画面の明るさ、自動OFF設定ができます。
※自動OFF設定：設定時間後に画面が暗くなり、バッテリーの消耗を減らします。
　バッテリー駆動時のみ動作します。

1．「設定」内の「バックライト」をタッチする。
2．バックライトの「 < > 」をタッチして明るさを調節する。
3．自動OFF設定の「 < > 」をタッチして自動で画面が暗くなるまでの時間を調整する。
（常にON／10秒後にOFF／20秒後にOFF／30秒後にOFF／1分後にOFF／10分後にOFF）

1.「バックライト」をタッチ

設定のメニュー画面

2.3.「 < > 」で調整



バックライトの画面

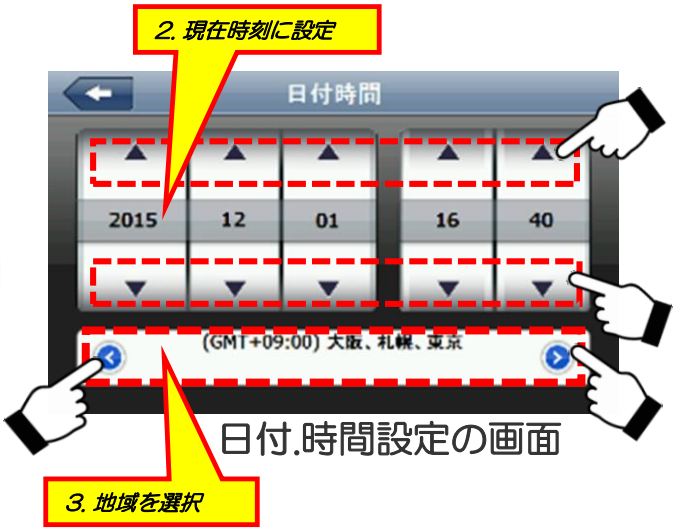
12-6　日付・時間 設定

日付.時間の設定メニューで西暦、日付、時間、時間および地域の設定ができます。

1．「設定」内の「日付.時間」をタッチする。
2．現在の西暦、付き、日、時間、分を「▲　▼」のタッチで設定する。
3．地域の「 ◀ ▶ 」をタッチして「（GMT+09:00）大阪、札幌、東京）に設定する。

1.「日付．時間」をタッチ

設定のメニュー画面



日付.時間設定の画面

※日付．時間に関しては、ナビのGPS受信により自動設定されます。

12-7　ナビ 設定

ナビゲーションを動作させるための設定です。
（この機能は通常は使用しません）

＜ナビ設定方法＞

1．「ナビ設定」をタッチし、ナビゲーションパスの設定画面にする。
2．「 ☰ 」をタッチし、その中のホルダー「ResidentFlash」「Navione]を順にタッチして「Navione.exe」が表示したことを確認して「OK」をタッチする。
3．「 ← 」をタッチして元の画面に戻る。

1.「ナビ設定」をタッチ

設定のメニュー画面

「ナビ設定」は工場出荷時に設定済みですが、
初期化(38ページ「ファクトリーリセット設定」）を行うと、ナビ設定も初期化されることがあります。ナビが立ち上がらない場合は上記設定をしてください。

12-8　システム 情報

本製品のシステムリソースの確認する機能です。

1．「設定」内の「システム情報」をタッチする。
2．システム情報が表示されます。

※この機能は、製造上の管理に使用するための機能で、お客様のご使用には関係ございません。

1.「システム情報」をタッチ

設定のメニュー画面(2ページ目)

システム情報

13.　ソフトウェア仕様

項目		仕様
地図部門	全国道路地図	住友電工システムソリューション(株)製 最新全国拡張道路地図搭載(2018年度リリース)
	昼夜画面切り替え	○（昼：夜手動/自動切替）
	縮尺切り替え	○１２段階（２５m～１００Km）
	ルート検索機能	おすすめ・高速道路優先・一般道路優先 ・距離優先・複数ルート表示
	リルート機能	○（自動・手動）
	トンネルアシスト	○（ナビ走行時）
	スカイモード	○（４モード）
	右左折案内	○（大文字右左折表示）
	一方通行表示	○（地図尺度50m以下）
	到着予想時刻表示	○
	目的地までの距離表示	○
	オービス情報	○（音声警告・位置文字表示）
	高速道路表示	○（前後ＩＣ表示・スクロール機能付）
	ウォーキング表示	○
	地図表記言語	日本語
	ノースアップ／ヘッドアップ切替	○（北方向上/自車方向上）切替
	スマートインターチェンジ対応	○
	アプローチチャイム機能	○
	デモ走行機能	○
検索	電話番号検索	１０００万件（企業）
	住所検索	３６００万件
	施設名検索	５０万件
	周辺施設検索	５０万件
	コンビニ・ＧＳ優先表示	○
登録機能	検索地点履歴	１００ヶ所
	地点登録	１２００ヶ所
	自宅登録	○
	かんたん自宅登録機能	○

※本機のデザイン・仕様は予告なく変更する場合がございます。
※地図情報に関しては、全ての情報は網羅されていない場合があります。

14. ハードウェア仕様

項目		仕様
液晶表示器	種類（TFTなど）	液晶：ＴＦＴ　　バックライト：LED
	サイズ（インチ）	7インチ
	解像度(横X縦)	800x480 pixel
	視野角（上下左右）	上30°下15°　左30°　右30°
	輝度	200 cd/㎡
タッチパネル		静電容量式
CPU		MSB2531 ARM Cortex-A7 800MHz
内蔵メモリ		Flash 8 GB
ＯＳ		Microsoft WindowsCE 6.0
音声出力		1.5 W　　X１
入出力端子	イヤホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック
	マイクロSDカードスロット	メディア用　対応32ＧＢ以下 ドライブレコーダー用　対応32GB以下
	再生動画フォーマット	ASF/AVI/WMV/MPG
	再生音楽フォーマット	MP3/WMA
	再生画像フォーマット	JPG/BMP
ＴＶ受信	ＴＶ受信	ワンセグ (470-770MHz)
	ワンセグ録画機能	録画可能（録画はワンセグのみ）
カメラ部	画素数	１００万画素
	画角	水平　105°　垂直　60°
その他	エンジンｏｎ/ｏｆｆ 連動機能	○
電源	電源電圧	DC5V （miniUSBタイプ入力端子）
	消費電力(W)	3.5W
	待機時消費電力	２０mW以下
内蔵 バッテリー	種類	リチウムポリマー
	容量(mAh)/電圧(V)	1600mAh　/　3.7V
	駆動時間	約1時間
	充電時間	約4時間
サイズ		約175mm x 109mm x 21mm
質量		約270g
動作温度		0～45℃
保存温度		-10～60℃
付 属 品		・車載用DCアダプター（入力：DC12-24V）
		・車載用吸盤スタンド一式
		・吸盤ベース板
		・取扱説明書（保証書付き）
		・8GB microSDカード（ドライブレコーダー用） ※製品に装着済

＊仕様及びデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

15. 困った時には

修理を依頼する前に、以下のことを確かめてください。

●電源・バッテリーについて	・電源が入らない。	・バッテリー残量が少ない可能性があります。 十分充電してください。 （充電中はランプが点灯します。）
		・ハードリセットを行い、再起動を確認してください。
	・バッテリーの持続時間が短い。	・バッテリーの寿命の可能性があります。 サポートセンターにご相談ください。
●本体について	・画面が暗くて見えない。	・設定で暗くなっている可能性があります。 明るさを調整してください。
	・画面が消える／映らない。	自動ＯＦＦ設定が設定されている可能性があります。 設定を解除してください。 ・設定→バックライト→下の設定を「常にON」にする。
	・タッチパネルの反応が悪い。ボタンが押せない。	・保護フィルムをはがしてください。 ・指又は付属のタッチペンをお使いください。 上記以外のものではタッチ反応しません。 ※本製品は静電容量式です。押し圧で感知するものではありません。
	・音声が出ない。	・音量ボリュームを確認してください。
	・テレビが受信できない。	・アンテナを伸ばして下さい。 ・受信環境の良いところに移動してください。 ・スキャンを行い受信可能な放送局を設定してください。
●GPS受信について	・電源を入れた時、GPSの受信ができない。	・初めて使用する時や長時間使用していない時は、 コールドスタートとなり、受信に時間がかかります。 屋外の空の開けた場所で受信できるまで待ってください。
	・電源OFFのまま長距離移動後GPSを受信しにくい。	・GPSの情報を再設定するため受信に時間がかかります。 一度受信しましたらその後は早く受信できます。
	・GPS感度が悪く自車位置が捕らえにくい。	・本体の取付け位置を電波の入りやすい位置に移動してみてください。
	・GPSを受信できない。	・受信しやすい位置に移動して設置ください。
●ソフト動作について	・動作エラーが発生する。	・リセットを行うか電源を入れ直してください。
	・動作が停止又は不安定。	・リセットを行うか電源を入れ直してください。
	・正しい時刻が表示されない。	・メインメニューの設定で、時刻設定を行ってください。 ・ＧＰＳを受信してください。

16　お問い合わせ先

※電話番号のかけ間違いの無いように十分ご注意ねがいます。

機器に関する問い合わせ

株式会社　カイホウジャパン　サポートセンター

E-MAIL　：Info@kaihou.com

電話　：042-631-5357

FAX　：042-631-5359

営業時間　：平日10：00～17：00
（土日祝祭日は休み）

地図情報、地図更新、ナビ操作に関する問い合わせ

ナビゲーション地図サポート

サポートページ　：http://www.mapnet.co.jp/kaihou

E-MAIL　：mapque@mapnet.co.jp

電話　：03-3516-6080

FAX　：03-3516-6387

営業時間　：平日10：00～17：00
（土日祝祭日は休み）

ー メ　モ ー

保証書

Ver.1.0.0

本保証書は製品ご購入日から下記保証期間内で、製品本体（消耗部品を除く）に故障が発生した場合に下記記載内容で無料修理する事をお約束するものです。修理は必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

【無料修理規定】

1. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り無料にて修理いたします。
   - ●無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本保証書を添えてご依頼ください。
   - ●ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、**株式会社 カイホウジャパン** にご相談ください。
2. 保証期間内でも次のような場合には有償になります。
   - ●使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   - ●火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
   - ●ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障及び損傷。
   - ●本保証書のご提示がない場合。
   - ●本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入販売店名を記入のない場合、あるいは字句を書換えられた場合。
   - ●消耗品、付属品などの交換などによる故障及び損傷。
   - ●液晶、タッチパネルの損傷。
3. 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
6. 修理の際は大切な情報（登録地点など）は必ずメモなどバックアップをおとりください。初期状態に戻すことがあります。
7. データの取り扱いについて
   - ●修理依頼品がメモリーなど記録媒体を搭載または使用する製品の場合、製品に使用した記録媒体等に記録されたデータ（お客様が登録した地図データ、録音・録画した音楽・映像データ、各種設定内容等を含む）を必要に応じて修理の過程で閲覧・実行する場合がありますが、修理の目的以外に使用いたしません。
   - ●本修理サービスにおきまして、当社は記録データについての複製、バックアップ、復元作業等は一切行いません。
   - ●修理のために必要と判断した場合、修理依頼品の記録媒体等の初期化、交換、工場出荷状態に戻す等の作業を行わせていただきます。その際にお客様が登録したデータや著作権を含む記録データおよびお客様が追加したファイル、設定等は失われます。必要なデータ及びファイル等はあらかじめお客様にてバックアップを作成いただく様お願い致します。
   - ●修理等の作業にあたっては細心の注意を払いますが、前項以外の場合であっても作業の過程で記録データの破損・消失等が生じる場合があります。
     当社は、記録データの破損・消失等についての責任は負いかねますので、ご了承願います。
   - ●修理等の作業にあたって部品交換した場合は、交換した部品は株式会社カイホウジャパンの所有物として回収させていただき、返却は致しかねますのでご了承願います。

※修理の際は大切な情報（登録地点など）は必ずデータのバックアップまたはメモなどをおとりください。
また大切な記録データ（音楽・映像など）なども必ずバックアップをおとりください。

ご購入日　西暦　　年　　月　　日	ご購入販売店、住所、電話番号
お客様名	
保証期間　ご購入日より　1 年間	
機種名　*TNK－744DRT*	

発　売　元

株式会社 カイホウジャパン

〒192-0906

東京都八王子市北野町　598－11

カイホウジャパンホームページ　http://www.kaihou.com /